

令和3年4月9日（金）

## ➤ 入学式 校長式辞「考える習慣を身につけ、人間関係力を伸ばす」(要旨)

ここ城山の桜も例年より早く開花を迎え、まさに春爛漫の今日この良き日に、令和3年度宮城県岩出山高等学校入学式を、挙行できますことは、私ども職員一同にとりましてこの上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、お子様の晴れ姿に感慨もひとしおのこととご推察申し上げます。誠にありがとうございます。

ただ今入学を許可された四十八名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員、在校生一同、皆さんを心より歓迎いたします。

本校は今年で創立93年を迎える県内有数の伝統校です。

ここにいる新入生の皆さんも、今日から本校の一員となりますが、将来の社会を支える有為な人材となるべく学習に部活動に励んで下さい。

本校は校訓として志(こころざし)、和(わ)、道(みち)を掲げています。

この校訓を入学に当たっての皆さんの心構えとしてください。

さて、新入生の皆さんが、高校生活を送るにあたり、2つのお願いをします。

一つ目は「考える習慣を身につける」ということです。

毎日の授業や、部活動、学校行事、ボランティア活動など、様々な場面で、一見当たり前に見えることでも、疑問を感じたなら、そのままにせず、「なぜ」と考え、自分なりの答えを探す努力をしてほしいのです。その過程で皆さんは、これまでに勉強した知識や経験を活用し、思索を深め、論理立てた考え方を身に着けていくこととなります。その積み重ねが、何事にも前向きで積極的な高校生活につながっていくと考えるからです。人は悩み、考え、それを乗り越えたときに成長します。3年間、皆さんが多くの成長の機会に恵まれることを期待しています。

二つ目は、「人間関係力を伸ばす」です。

ICTやAIの進歩により、これからの社会や仕事は変化するといわれています。しかし、そのような社会でも皆さんに必要とされる力は、意欲(つまりやる気)と人間関係力(円滑にコミュニケーションできる力)であり、人間性の向上が必要となります。クラスや部活動で一人ひとりを認め、受け入れる経験が大切になります。他者を尊重しながら、協力して学校生活に取り組む経験を積んで下さい。

最後になりましたが、保護者の皆様に申し上げます。私ども職員一同、生徒一人一人の心に寄り添い、苦勞と喜びを分かち合いながら、3年後にお子様が進路目標を達成できるように、誠心誠意、教育に取り組む所存でございます。どうか、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本日入学された新入生の皆さんにとって、実り多い充実した3年間となりますことを切に願ひまして式辞といたします。

令和3年4月8日 宮城県岩出山高等学校長 佐々木 英貴

※新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の方には一名での参加をお願いし、

ご来賓もPTA会長様お一人という例年とは違う形式の式典でした。

換気を徹底したため、少し肌寒さはありませんでしたが、厳粛な中にも温かみのある式典だったと思います。

新入生代表で宣誓してくれた平田さんとても立派でした。しっかりとした決意を感じさせる姿に大変感動しました。